

# 聴覚支援学校から下校中の児童らに ショベルカー突っ込む 11歳女児死亡

## カメラ映像と運転手供述に食い違い

2018年2月2日 4時26分

1日、大阪府でショベルカーが歩道に突っ込み、11歳の女の子が死亡し、4人が重軽傷を負った事故で、防犯カメラの映像に、交差点の手前で止まっていたショベルカーが動き出して突っ込む様子が映っていることがわかりました。

逮捕された運転手は「赤信号で止まろうとしてブレーキとアクセルを踏み間違えた」と供述していて、警察は状況に食い違う点もあるとして調べています。

1日午後4時前、大阪府の交差点でショベルカーが歩道に突っ込み、信号待ちをしていた近くの聴覚支援学校に通う児童3人と教員2人の合わせて5人をはねました。

この事故で、女子児童(11)が死亡し、11歳の児童2人と40代の教員2人も腰の骨を折るなどの重軽傷を負いました。

警察はショベルカーを運転していた建設会社の従業員の男性容疑者(35)を逮捕し、過失運転致死などの疑いで捜査しています。

NHKが入手した近くの防犯カメラの映像には、工事中の道路上のショベルカーが交差点の手前でいったんわずかにバックしたあと停止し、その後、前に動き出して歩道に突っ込む様子が映っていました。

一方、容疑者は調べに対し「信号が赤になってブレーキを踏もうとしたら間違えてアクセルを踏んでしまった」と供述しているということで、警察は状況に食い違う点もあるとして調べています。